

平成 29 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート
(平成 28 年度の実績評価)

作成日 平成 29 年 7 月 10 日
更新日 平成 年 月 日

総合計画体系	政策No.	3	政策名	うるおいと活力のある快適なまちの形成	施策主管課	農林商工部 観光商工課
	施策No.	14	施策名	観光資源の保全と活用	施策主管課長名	長谷部 寿仁
施策関連課名						

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民 本市への来訪者	地域資源の有効活用による経済効果
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
① 対象指標	ア 市民	人	見込み値		72,644	72,322	72,001	71,680	71,359	71,038	
			実績値	72,963	72,963	72,305	72,018				
	イ 観光客	千人	見込み値		829	844	859	875	890	905	
			実績値	813	704	685	753				
	ウ		見込み値								
			実績値								
② まちづくり指標	A 南アルプス山岳交通機関を利用した広河原への訪問者数	千人	目標値		未設定	45	47	49	51	53	
			実績値	41	30	41	39				
	B インターネットによる市観光情報の閲覧回数	回	目標値		未設定	840	855	870	885	900	
			実績値	822	1,247	1,806	2,170				
	C 橿形山周辺施設等利用者数	人	目標値		未設定	25,000	25,250	25,500	25,750	26,000	
			実績値	24,590	21,539	22,430	23,386				
	D 農業体験実習館(樹園)宿泊客数	人	目標値		未設定	1,880	1,910	1,940	1,970	2,000	
			実績値	1,836	1,279	2,029	2,584				
	E		目標値								
			実績値								
まちづくり指標設定の考え方		<p>A: 山岳観光の振興対策の効果を示す。 【南アルプス山岳交通適正化協議会から報告された利用者数÷2 [延べ人数(往復)を想定し2で除した人数を設定]】</p> <p>B: 観光に関する情報の充実度を示す。 【南アルプス市観光協会において発信したインターネット情報(観光協会facebook)の閲覧回数】</p> <p>C: 市内の自然資源を活用したエコツーリズムの推進を示す。 【橿形山県民の森関係施設(森林科学館・ウッドビレッジ伊奈ヶ湖・グリーンロッジ・レストハウス伊奈ヶ湖)及びトレッキングコースを利用した観光客数】</p> <p>D: 市内の自然資源を活用したグリーンツーリズムの推進を示す。 【農業体験実習館「樹園」の年間宿泊客数】</p>									
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)		<p>A: H21からH25年(H23は通行止め期間があったため除外)の対前年度比の平均的な増加率7%を見込み目標設定</p> <p>B: 中部横断自動車道の開通及び観光拠点施設整備等の観光振興などにより、5年間で約80回(約10%)の増を見込み設定</p> <p>C: 観光情報の積極的PR及び資源を活用したイベント等エコツーリズムの充実により、5年間で約5%(約1,400人)増を見込み目標設定</p> <p>D: グリーンツーリズム関連事業の充実により、5年間で約9%(約170人)増を見込み目標設定</p>									

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
関連事業本数	46	49	42	40	39		
関連事業予算額(単位:千円)	193,758	349,443	278,716	183,816	484,057		
(予算額の内訳)	国庫支出金	0	0	0	5,596	1,800	
	県支出金	3,528	24,585	20,492	14,392	0	
	地方債	0	122,600	26,500	0	293,600	
	その他	29,181	28,004	19,083	24,732	27,703	
	一般財源	161,049	174,254	212,641	139,096	160,954	

4 評価結果(施策の有効性評価)

① 目標達成度評価 (目標値と実績値との比較) <input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった		※左記の理由 目標値を上回ったのがB,D、下回ったのがA,C。A・・・9月の長雨による登山者数の減。B・・・観光協会HPの改良等による利用者数の増。C・・・前年比増とはなったが目標値には届かなかった。何か人を引き付ける魅力がないとならないか。D・・・インターネットでの宿泊予約が可能なサービスを取り入れたための増による。
② 時系列比較(過去3ヶ年程度の比較) <input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した		※左記の理由 A・・・天候によって左右される。H28は9月の長雨が原因。B・・・ここ数年、観光協会HPをリニューアル化させたことによる。C・・・少しずつであるが登山者数は増えている。「山の目」の影響もあるか。D・・・H26は施設改修5ヶ月あり。H27はリニューアル化される。H28はインターネット予約導入による。
③ 他自治体との成果実績値の比較 <input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である		※左記の理由 県内の観光入込客数の構成比では富士吉田市15.5%、富士河口湖町14.3%、北杜市12.7%、甲府市10.1%の順で、南アルプス市は1.6%である。また、人口3,156人の鳴沢村でも構成比は8.3%(3,971,255人)と本市の約5.3倍の観光入込客数となっている。
④ 住民の期待する成果水準との比較 <input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である		※左記の理由 本市を訪れる観光客は果物狩り・登山・ハイキング・温泉等を目的に来る人がメインと考えられるが、宿泊を伴う客は少ない。また、ユネスコ・エコパーク登録による影響は表立って現れていない。

5 まとめ(課題の抽出とその解決に向けた取り組み)

施策の課題 (現状の問題点)	課題を解決し、施策の実現を図るための取り組み方針	
	課題解決の方向性	具体的な改善策・取り組み内容
果物狩り観光客数が減少している。	果物狩り観光客数の増加を見込んだ対策を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会を通してのPR、広報活動、HPの刷新 エージェント、南アルプスゲートウェイ等による新たなツアー企画
登山者への利便性が充分でない。	安全面・衛生面において登山者のための施策を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 登山道整備、道標整備 登山者のためのトイレ整備 (芦安市営駐車場にH29.6月にトイレを新設) 登山者のためのパンフレット作成
ユネスコエコパーク緩衝地域の整備が図られていない。	楡形山・伊奈ヶ湖周辺の施設整備を図る	<ul style="list-style-type: none"> ウッドビレッジ、グリーンロッジ、レストハウス等施設改修 県から移譲を受けた県民の森周辺施設内の県有林の活用 <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の拡張 (上記問題について、H29予算要求により対応をしていく予定)